

「三和町パンフレット」

おととしの三和小学校卒業生（2名）が作成しました。



三和町

そこは、いくつもの「愛」「幸せ」「自然・生き物」という

たからものが
がつまった町

令和元年度 三和小学校6年生・製作



「いのちをつなぐ」（絵：山内章元校長先生）より



三和の昔話

三和町には多くの昔話や伝説があり、山内元校長先生が、それを紙芝居にしたものを保存しています。



山内元校長先生作成「三和のむかし話 Map」

紙芝居リスト

1. 御殿山のお姫様
2. 弁慶岩
3. ひらき山の大蛇
4. ベンズル様
5. ハツ八月の穴けすり鉢
6. かぶとぶち
7. 狐の鳴いた藪黄の匂い
8. 樽ヶ山の赤勘さま
9. 鈴越峠の狐さん
10. お亀さま

これらは、時々地域のお年寄り方や保育園の子たちに、読み聞かせを行っています。



お亀さまの伝説

むかし、むかし、三和の川邊の原にマイコウというお亀さんがおられた。
ある日のこと、和向さんは、神輿を運って御廟の石段に上がってきた。
（長姉一修行僧が、鉢をもって町中を歩き、他人の家の前に立つて施しのお茶や、金銭をうけて回ること）



途中、六本松の時にさしかかった時、道の真ん中に、人の行き来の邪魔になる悪い石が転がっていた。和向さんは、人が通るときにつまみ上げて、後後でもしてはいけなと思われ、その石を少し離れた場所にならぬところに移し替えておかれた。

無事に石段を昇るの帰り、朝はど雲った六本松の時にさしかかると、和向さんはひびく音で「不思議なことだ、来るたびに帰っていた悪い石が、まるで呼吸をしている生き物のようだ。朝のよごらに眠っているではありませんか？」

人っ子一人いない山道のこと、和向さんは恐る恐る小さな声をおぼせて、「生あるものなら動いてみよ、生き物なら動いてみよ」と、石に向かって語りかけられた。すると、あら不思議！その石はあたかも返事するように、3回ほど回って、さまたさうな。和向さんは、この石を神札様のお告げの石ではないかと思い、大事に持ち帰って観音堂に祀り、朝夕お参りされた。この石を祀らばに願うことをかけてお参りすると、どんな願いこどもも叶えられ、響いているところを、この石ですと、必ず奇効が治るといので、たいそう評判となり、遠方々々「お亀さま」という名がついたそう。お亀さまを祀り、「お亀さまが癒えよう」とお参りを戴いたりして、大事にお参りされるようになったそう。

これもある時、この評判高い「お亀さま」を盗み出して、一聞けしようと考えた不届き者がおって、盗んで逃げたが、一物中、同じところまでくると同じく戻っていただけやうだ。

今、この「お亀さま」は、三和小学校の裏山の山の斜面にある「おかのあん」というお堂に祀られています！

A ... 御殿山キャンプ場
B ... 喫茶「つみき」
P ... 駐車場

... 三和小学の子供がよく見えるところ
三和小学の子供がよく見えるところ

伊深町へ
山之上町へ
三和の山々
空から・・・

富士山 357m

2019・10・10 ドローン撮影

学校周辺

三和小学校
三和交流センター